

投資事業評価調書 (新規)

課室名	砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 西川昌一 (釜谷正博)	内線	4459 (4467)
-----	-----	---------------------	---------------------	----	----------------

事業 種目	急傾斜地崩 壊対策事業	事業名	事業区間	総事業費	約 3.0 億円
		急傾斜地崩壊対策事 業 <早瀬区>	佐用郡 上月町 早瀬		

所在地			着工予定年度	完成予定年度
佐用郡 上月町 早瀬			H13年度	H15年度

事業目的		事業内容	
防災対策 急傾斜地崩壊危険箇所であり、斜面崩壊による危険性が高いため、防災対策工事を行い、地域住民の生命及び公民館を保護する。		急傾斜地崩壊対策事業(防災工事) 擁壁工 L = 340m H = 5m	

評価視点	
(1)必要性 安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> 急傾斜地崩壊危険箇所である。 保全人家戸数14戸、公民館、町道(宮の谷線)がある。 斜面は表土崩壊が発生するなど、崩壊の危険性は高い。
快適性・ゆとり	<ul style="list-style-type: none"> 山村部の豊かな山並みは、地域の豊かな景観を構成するもので保全効果は高い。
その他	<ul style="list-style-type: none"> 数カ所、表土崩壊が発生している、 過疎対策法地域、山村振興地域に指定されており当該事業による生活環境の改善効果は大きい。
(2)有効性・効率性 有効性 効率性	<ul style="list-style-type: none"> 保全対象に公民館、町道が含まれ事業効果が高い。 事業実施に向け、法指定の同意を得ている。
(3)環境適合性	<ul style="list-style-type: none"> 待受擁壁工は、化粧型枠を採用し、より自然に近い雰囲気にする。 また、ツタ等による緑化も検討する。 斜面脚部を固定することにより、良好な緑の斜面を保全できる。
(4)優先性	<ul style="list-style-type: none"> 保全対象に人家14戸、公民館、町道があり、事業効果は高い。 表土崩壊が発生するなど、次期崩壊に向け、早急な防災対策が必要である。 住民の要望は大変大きく、事業執行体制は整っている。

評価 の 結果	着手妥当	左 の 理 由	審査の結果、事業着手が妥当と認められた。
---------------	------	------------------	----------------------